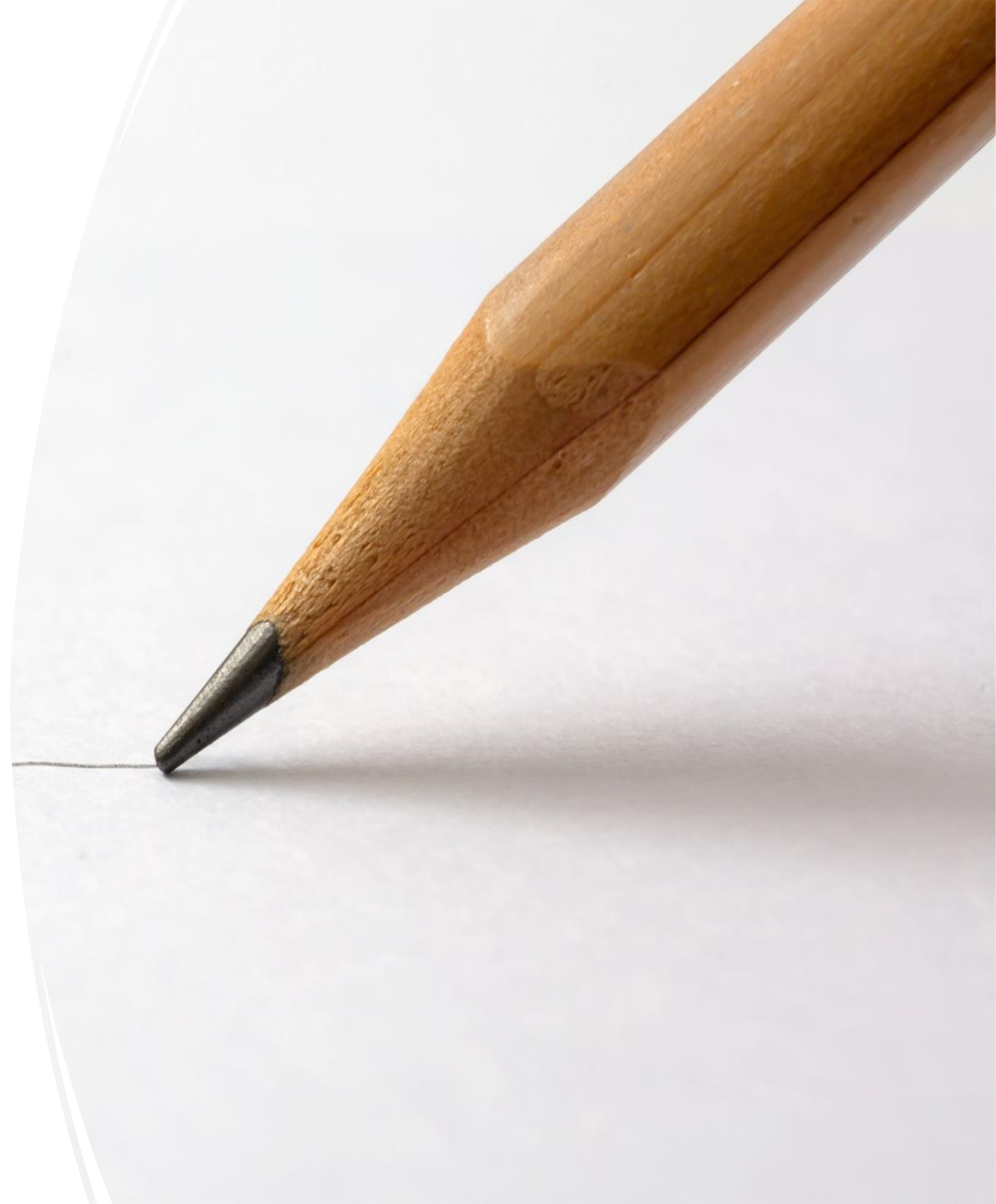


助成金代行オプション契約の おすすめ

ペンタス社会保険労務士事務所



雇用関係の助成金とは何か

- 雇用保険に加入している企業が、パートアルバイトや有期雇用労働者を正社員に転換したり、勤務環境を改善したりした場合に、国から一定額のお金をもらえる制度です。
- 貸付金ではないので返済義務がないことから、簡単にとってもらえると思う方も多くおられます。
- 実際の申請には厳しい審査があり、それをクリアしないと助成金はもらえません。
- 現実に従業員様の労働条件を改善する等の措置をとって初めてもらえるのが雇用関係の助成金です。

助成金獲得の何が難しいのか。①

例えば、よく使われる「キャリアアップ助成金」の正社員転換コースで見てみましょう。

- 就業規則が整備されており、正社員転換に関する条項がある。(就業規則の作成変更)
- パートアルバイト採用時と正社員転換時に法律に従って「労働条件通知書」を交付している。(労働基準法の手続きの順守)
- パートアルバイトの期間の6か月の賃金と正社員転換後の6か月の賃金を比べて法律で定められた率以上の賃上げが行われている。(成果の確認に時間がかかる)
- タイムカードなどで勤務時間の管理がしっかり行われており、法定上限を超える残業がなく、法定以上の休暇等が付与されている。(ブラック企業の排除)
- サービス残業などの未払い賃金がない、等々。

助成金獲得の何が難しいのか。②

獲得を目指す助成金の支給条件をクリアするだけではなく、その他労働関係法令違反があると不支給となる可能性が高くなります。

また、最近では社会保険労務士が助成金業務の受託を断るケースが増えていることです。これは、社会保険労務士がまれに企業実態を伴わない書類を作成し、不正な申請を行うということがあるため、不正に関与した社会保険労務士に対する処分が法令改正により大変に厳しくなっていることも影響しています。

どうしたら助成金獲得に近づくのか。

- 適正で不安のない労務管理体制の確立と実行。
- 頻繁に改正される労働法制への的確な対応。
- 採用退職時の手続きの適正化。
- 事業主事由による解雇の回避。
- 機械化・電算化などによる労働生産性向上の努力。
- 最近では各種ハラスメント対策の推進等。
 など。

お金目当ての助成金獲得は失敗する。

助成金を獲得するためには、会社に存在する多くの労務上の問題やコンプライアンスの状況を見直す必要が生じます。そうするとそれなりのコストが掛かります。

逆に言えば、労務上の諸問題を解決していく成果として助成金を手にすることができるとも言えます。

労務上の諸問題を放置したまま助成金を取ろうとすると、実態と提出書類との矛盾が生じ、不正受給の疑いがかかって不支給決定となるばかりか、刑法上の罰則を受ける可能性もあります。

ペンタス社労士事務所の考え方

弊所の助成金支援は、労務顧問契約の追加オプションとして提供しております。

これは、企業の労務管理の状況を分析したうえで、問題点を洗いだし、事業主様はもちろん従業員様にとっても気持ち良く働いていける勤務条件や環境を整えていくことが助成金獲得の遠回りに見えて、実は確実な方法と考えているからです。

1件ごとの助成金獲得契約ではない価値を提供したい。これがペンタス社会保険労務士事務所の助成金申請代行オプション契約の取り組み方針です。

助成金申請代行オプション契約の形態

助成金申請代行オプション契約



通常の労務顧問契約またはアドバイザー顧問契約

- 通常の労務顧問契約は、労働保険社会保険等の手続き代行がセットになった契約です。
- アドバイザー顧問契約は、手続きは自社で対応できるという場合に、手続き代行部分を外して相談部分のみにしたお得な契約です。もちろん情報提供やご相談に違いはありません。
- 報酬の詳細等は弊社までお問い合わせください。